

柏市交通政策審議会（千葉県柏市）

- ・平成19年、民間路線バスの廃止により、市内に交通空白地域が発生。これを補完するため、コミュニティバスを運行したが、利用者数は低迷し平成25年度に廃止された。
- ・平成25年、東京大学によるオンデマンド交通実証実験を経て、デマンド交通サービス「カシワニクル」の運行を開始。
- ・運行開始後は、利用者ニーズの把握や課題の解消に努め、運行区域の見直しや多様な利用促進策を講じることにより利用者数を着実に増加させている。



（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

- 地域の町会に対し買い物や通院への移動状況等に関するアンケートを実施し、地域の状況に応じた多面的な市民の声を吸い上げることに努めた。
- 市内の全タクシー事業者が加盟している「柏地区タクシー運営委員会」と勉強会を開催するなど、他の交通事業者との協力関係を構築している。



カシワニクル車両



カシワニクルの運行地域

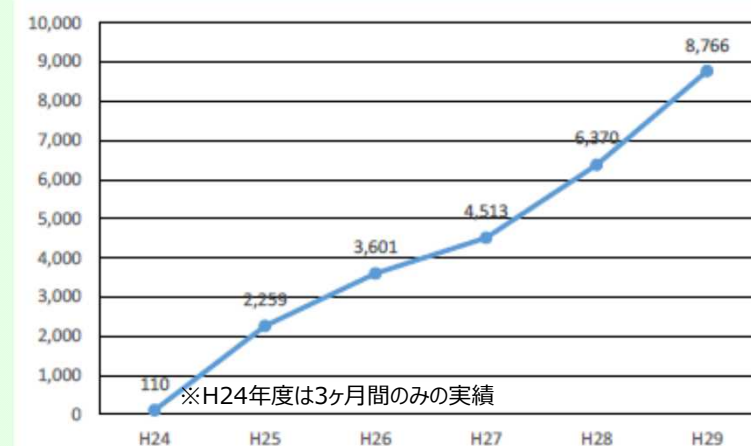
2. 創意工夫

- 地元タクシー事業者への影響を見極めつつ、「カシワニクル」の予約受付時間を運行の4時間前から1時間前までに改善し利用者利便の向上に努めた。
- 「カシワニクル」の認知度向上のため、パンフレットの作成をはじめとしたPRを積極的に進めている。

3. 自立性・継続性

- 市民の生活交通ニーズ等を踏まえた運行を行い、広報等を通じたPR活動を積極的に行うことで利用者増加を実現した。
- コミュニティバスを「カシワニクル」に切り替える等、事業の見直しを行ったことにより、運行費用を大幅に減少させ、市の財政負担を軽減することに成功した。

（単位：人）



カシワニクル利用者数の推移